

令和4年4月吉日

東京科学機器協会
会員各位

日本薬科機器協会
会長 酒井 哲嗣

研修会 開催のご案内

拝啓 皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日ごろは協会事業に格別のご高配をたまわり、厚く御礼申し上げます。

さて、協会では今年度の研修事業の一環として、下記の研修会を開催することといたしました。土屋文人先生を講師に迎え、「変わりゆく薬剤師業務に対応するために薬科機器に求められるのは何か」という日本薬科機器協会の会員の皆様にとって時宜にかなった演題にてご講演いただきます。

若手のみならず、多くの会員、社員の皆様のご参加をいただけるよう、お待ち申し上げております。
なお参加料は無料です。

敬具

記

講 師 土屋 文人先生 (一般社団法人 医薬品安全使用調査研究機構 設立準備室 室長)
演 題 変わりゆく薬剤師業務に対応するために薬科機器に求められるのは何か
講演要旨

今回の薬剤師法や薬機法の改正は、病院薬剤師と薬局薬剤師、即ち勤務する場所によって法的義務が異なることになってしまったことについては違和感を感じざるを得ないが、少なくとも法(国民)が薬剤師に求めている大幅な変革は期限付きであることも自覚しなくてはならない。

医療における ICT の導入、AI の進展等、工学領域の技術革新が、確実に医療の世界で利用範囲を拡大している。一方、働き方改革、チーム医療の進展も薬剤師の守備範囲を広げている。更に、薬学の発展により、薬の専門職である薬剤師なしに安全かつ適正な薬物療法の確保はできない時代となっている。これに呼応して、薬科機器に求められる機能も従来に比して大きく変化している。一方で SDGs に関しては医療の世界が世の中から見れば少し遅れているのではないかと危惧している。

本講演においては変わりゆく薬剤師業務に対応するために薬科機器に求められる機能や環境等を中心に述べることとする。



日 時 : 令和4年5月25日(水) 午後6時~午後8時(予定)

場 所 : オンライン (Zoom ウェビナーにて行います)

お申込方法 : 受講ご希望のかたは下記までメールにてお申込み下さい。

メール内容: タイトル 「研修会受講希望」と書いてください
所属名
お名前
メールアドレス

以上を明記して下記までメールにてお申込みください。(申込締め切り 5月20日)

宛先メールアドレス: info@nyk.gr.jp

折り返し、受講用 URL をお送りします。

以上
お問い合わせ: 日本薬科機器協会事務局

東海林まで email: h-shoji@nyk.gr.jp Tel: 03-3407-8831